

深 保 険 発 第 4 6 6 号
令和 2 年 1 1 月 1 2 日

深谷市国民健康保険運営協議会
会長 須藤 邦男 様

深谷市長 小 島 進
(公印省略)

回 答 書

令和 2 年度第 2 回深谷市国民健康保険運営協議会の報告事項に対する意見および質問について、下記のとおり回答いたします。

記

① 報告事項「深谷市国民健康保険の事業状況等について（令和元年度決算）」

No.	項目名 (資料名)	意見および質問内容	回 答
1	資料なし	決算報告の款以下をもう少し細かく提示・説明していただいた方が判り易いと思うが？	深谷市国民健康保険特別会計の決算状況について対前年度比較をし、大まかな推移を報告しております。 ご指摘のとおり、詳細な事業等の決算状況等の把握については、決算款別内訳では困難でありますので、別紙のとおり「令和元年度深谷市国民健康保険特別会計決算概要」を作成いたしました。内容に関する質問等ございましたら、担当までご連絡ください。 なお「令和元年度深谷市決算書」は以下の方法でご覧になることができます。 ①深谷市ホームページより「深谷市決算書」で検索 ②QRコード読み取り お手持ちの端末で右記QRコードを読み取ってください。 

2	資料 1 P 2「第 1」	元年度の保険給付費は前年比減少し、年度別にも漸減傾向にあるが、その要因をどう捉えているか？	保険給付費については、被保険者数の減少により、医療等に係る費用・出産育児一時金等の減少傾向が見られます。被保険者数の減少の主な要因としては、被保険者が 75 歳到達により後期高齢者医療制度へ移行していることが挙げられます。 一方、一人当たりの医療費等に係る費用（療養諸費費用）については増加傾向であり、医療の高度化が一因と考えられます。
3	資料なし	以前、ジェネリックの使用率は、県内で深谷市が最低であるという説明があったかと思いますが、元年度の実態はどうか？	令和元年度のジェネリック医薬品の数量シェアは 71.9% となり、埼玉県内での平均順位は 40 市のうち 39 位となりました。 ジェネリック医薬品の数量シェアは毎月増加傾向にあり、県内市町村平均は 77.5% と国の目標値である 80% に近付いております。今後も関係機関の協力のもと、被保険者にわかりやすい差額通知書の送付や利用促進の周知を進めて参ります。

【担当】

深谷市役所 市民生活部 保険年金課

国保税係 中嶋、小林

（電話） 0 4 8 - 5 7 1 - 1 2 1 1 （代表）

（内線） 2 1 7 1、2 1 7 2